

2015年度 アクティブ・ラーニング成果発表会

主催 SH情報文化研究会・気株式会社オッコセイ・やる気株式会社・知株式会社

2016.02.01 司会 飯箸泰宏

1. Who am I ?

- ▶ 氏名 飯箸泰宏
- ▶ 年齢 69歳
- ▶ 明治大学情報コミュニケーション学部兼任講師

- ▶ 元 科学ジャーナリスト
- ▶ 株式会社サイエンスハウス代表取締役 35年
- ▶ <教育経験> 駿台電算機専門学校/日本電子技術専門学校など
中小企業大学校（通産省・経産省傘下）
大正大学/明治大学/法政大学/武蔵野美術大学/慶応大学/国士舘大学
(システム工学、情報システム論、情報コミュニケーション論、情報デザイン論、情報社会論)
- ▶ 学歴 都立足立高校（ビートたけしと同級生）
東京大学理学部化学科卒
東京大学理学部情報科学科研究生修了

2. SH情報文化研究会とは

- ▶ 情報システムと科学出版に関心のある人々の勉強と交流のための会です。
- ▶ 情報システムの開発と科学出版にとりくむサイエンスハウスの飯箸sが私的に開催しています。

- ▶ 幹事 飯箸泰宏・貴美子
- ▶ テーマ 幹事とその気になったこと
- ▶ 開催時期 幹事の気まぐれ

3. アクティブ・ラーニング成果発表会

4

- ▶ 今回は、松蔭大学立野ゼミ、帝京大若山ゼミ、明治大飯箸ゼミの合同成果発表会。
- ▶ それぞれの教員にはそれぞれの特徴があり、ゼミにもそれぞれのテーマがあり、それぞれはきわめて個性的。
- ▶ 共通点は、アクティブ・ラーニングの手法が大きく取り入れられていること。

立野貴之 先生

松蔭大学 観光メディア文化学部
准教授

専門分野：情報工学、情報教育学、教育工学

授業担当科目：情報基礎、マルチメディア、ネットワークシステム

若山 昇 先生

帝京大学 法学部 准教授

専門分野：クリティカルシンキング、論理思考、問題発見・解決

授業担当科目：論理的思考演習、公務員教養、金融論など

飯箸泰宏

明治大学 情報コミュニケーション学部 兼任講師

専門分野：情報科学、人工知能、コミュニケーション理論

授業担当科目：情報基礎論、データベース、専門情報リテラシー、情報システム論、情報デザイン論

4. アクティブ・ラーニングとは

「アクティブ・ラーニングとは、学生にある物事を行わせ、行っている物事について考えさせること」

松下佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）編著『ディープ・アクティブラーニング 大学授業を深化させるために』序章より Active Learning: Creating Excitement in the Classroom (Bonwell & Eison, 1991)

「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的 能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。」

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）（平成24年8月28日）用語集

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_3.pdf

続いて、各ゼミの発表に進みます